



編集発行

広島県三次市吉舎町
広島県日彰館同窓会

印刷

佐々木印刷株式会社



よっしゃ吉舎ホール

館祖祭祭文

桜谷の遅咲きの山桜散り若葉の香りが漂う、本日ここ、善逝寺本堂において、館祖のご遺族をはじめご来賓の方々のご臨席をいただき、令和6年度館祖祭を執り行うこととしました。1年、1年重ねてきた、この館祖祭は今や同窓会の大事な柱となりました。館祖奥愛次郎先生をはじめ歴代諸先生方の御霊前に日彰館に関わる地域の状況と現状、生徒の活躍、そして周年記念事業も併せてご報告申し上げます。

少子化の流れは止めることができず状況は益々悪化しております。日彰館高校を目指してくれる生徒を培うために地域の皆様や学校当局にご尽力いただいております。令和5年、令和6年と定員を上回る応募をいただき、現在230名近くの生徒数となっております。1年毎の取り組み、応募対応など非常に重要となり、同窓会としましても先生方と共に慎重に取り組みたいと考えております。

さて、記念事業であります、10年前から始めた、生徒たちへの教育援助事業を継続してまいります。新たに、奨学育英基金を設立しました。そして周辺環境整備も併せて計画をしていますが、コロナ禍の影響が資金がままならぬ状況であります。事業達成するために、募集期間を延長して頑張るつもりであります。

そして記念式典は、よっしゃ吉舎で多くのご来賓をお招きし、高校生の研究成果の発表や式典の進行など、さまざまな協力を得て開会します。そして記念講演は、母校先輩の文化勲章受章者の奥田小由女先生にお願いしております。多忙中、大変ありがとうございます、感謝に堪えないところです。

進路状況につきましては、本年56名の生徒が卒業しました。大学国公立(3名)、私立(41名)(複数合格含む)、専門学校国公立(7名)、専門学校私立(20名)、就職(6名)となっております。

本年は平成4年卒業の当番幹事様のご協力、ご努力により、館祖祭、創立130周年記念式典の開催に至りました。連絡、情報発信を密にし、会員同士の親睦ができますことを祈念し、同窓会が益々の発展することのご加護をお願いし、ご報告とさせていただきます。

令和6年4月28日

広島県日彰館同窓会
会長 春 田 佳 伯



令和6年度 館祖祭・本部総会並びに創立130周年記念式典の報告

館 祖 祭

- 会場 善逝寺本堂
 時間 9：30～10：00
 次第 1. 開式の辞
 2. 黙禱
 3. 読経
 4. 祭文朗読
 (会長 春田佳伯 様)
 5. 焼香
 (ご遺族・ご来賓・各支部長～他は回し焼香)
 6. 館祖祭の歌
 7. 閉式の辞

同窓会総会

- 会場 善逝寺本堂
 時間 10：00～10：30
 次第 1. 開会の辞
 2. 議事
 ・第1号議案 令和5年度会計決算について承認を求める件
 (監査報告)
 ・第2号議案 令和6年度予算(案)について承認を求める件
 ・第3号議案 日彰館高等学校創立130周年記念行事について承認を求める件
 ・承認事項
 3. 閉会の辞

7. 来賓祝辞
 8. 来賓紹介並びに祝電披露
 9. 生徒代表の言葉
 10. 校歌斉唱
 11. 閉式の辞
 12. 日彰館高校生による記念アトラクション

日彰館高等学校創立130周年記念講演

- 会場 よっしゃ吉舎ホール
 時間 14：10～15：50
 次第 1. 開式の辞
 2. 講師紹介
 3. 講演 文化勲章 日本藝術院 会員 奥田小由女 氏
 4. 謝辞
 5. 閉式の辞

日彰館高等学校創立130周年記念祝賀会

- 会場 三次グランドホテル
 時間 17：30～19：30
 次第 1. 開宴の辞
 2. 記念事業実行委員会挨拶
 3. アトラクション
 4. 乾杯
 5. 懇親
 6. 次年度当番幹事学年引き継ぎ
 7. 校歌斉唱
 8. 閉宴の辞



記念式典の様子

【記念写真撮影】善逝寺本堂前

時間 10：30～11：00

日彰館高等学校創立130周年記念式典

- 会場 よっしゃ吉舎ホール
 時間 12：20～14：00
 次第 1. 開式の辞
 2. 国歌斉唱
 3. 物故者に黙禱
 4. 校長式辞
 5. 広島県教育委員会挨拶
 6. 記念事業実行委員長挨拶

令和5年度会務報告

- 4月7日 第55回入学式(日彰館高校体育館)
- 8日 広島県日彰館同窓会会計監査(奥記念館)
第9回館祖祭当番幹事会(よっしゃ吉舎)
- 11日 新入生80名奥記念館来館
- 15日 第2回三役会議(奥記念館)
- 17日 奥田元宋・小由女美術館訪問(事務局)
- 24日 日彰館高校との連携協議(会長・事務局長)
- 29日 館祖祭記念剣道大会(日彰館高校体育館)
館祖祭・本部同窓会総会準備～善逝寺・よっしゃ吉舎・三祖墓地他
- 30日 館祖祭・本部同窓会総会～善逝寺・よっしゃ吉舎
- 5月27日 第1回三役会議・創立130周年記念事業実行委員会(奥記念館)
- 6月8日 日彰館高等学校教育振興協議会総会(日彰館高校)
- 20日 奥田元宋・小由女美術館訪問(事務局)
- 7月11日 奥田元宋・小由女美術館訪問(事務局)
- 21日 日彰館高等学校連携(事務局)
- 29日 館祖祭次期当番幹事引継ぎ会議(よっしゃ吉舎)
- 8月26日 第2回三役会議・創立130周年記念事業実行委員会(奥記念館)
- 9月1日 創立130周年記念写真展(よっしゃ吉舎)23日まで
26日 日彰館高等学校連携(事務局)
- 10月7日 第1回館祖祭当番幹事会(COCO'S三次店)
- 21日 東京馬洗会総会(春田会長・吉田副会長・早稲田教頭)
- 23日 創立130周年記念写真展(三次サングリーン)11月7日まで
- 11月12日 第2回館祖祭当番幹事会(十日市きんさいセンター)
- 23日 館祖祭当番幹事打合せ(事務局)
- 12月2日 第3回三役会議・創立130周年記念事業実行委員会(奥記念館)
- 16日 第3回館祖祭当番幹事会(三次市民ホールきりり)
- 1月27日 日彰館同窓会理事会(よっしゃ吉舎)
第4回館祖祭当番幹事会(三次市民ホールきりり)
- 2月3日 館祖祭当番幹事打合せ(事務局)
- 3月1日 同窓会入会式(日彰館高校)
2日 第55回卒業証書授与式(日彰館高校体育館)
第5回館祖祭当番幹事会(よっしゃ吉舎)
- 23日 役員総会(よっしゃ吉舎)
第6回館祖祭当番幹事会(よっしゃ吉舎)
- 4月7日 日彰館高等学校連携(当番幹事・事務局)
- 9日 第56回入学式(日彰館高校体育館)
- 13日 広島県日彰館同窓会会計監査(奥記念館)
- 15日 新入生80名奥記念館来館
- 27日 館祖祭・本部同窓会総会準備～善逝寺・よっしゃ吉舎・三祖墓地他
- 28日 館祖祭・本部同窓会総会～善逝寺・よっしゃ吉舎

■第1号議案 令和5年度会計決算

1. 一般会計決算(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

〈収入の部〉

項目	予算額	決算額	付記
繰越金	649,769円	649,769円	
会費	1,000,000円	1,065,000円	
(一般分)		805,000円	105件
(生徒分)		260,000円	令和6年3月卒業生52名
雑収入	250,000円	313,408円	
(協力金)		246,500円	83件
(その他)		66,908円	館祖祭御供、周年記念案内立替、広島支部送料入金
利子	10円	6円	ゆうちょ(4円4/1、2円10/1)
繰入金	600,000円	621,092円	積立金取崩(広島銀行定期解約)より10/10
	100,000円	100,000円	同窓会運営基金(120周年特別会計より6/13)
合計	2,599,779円	2,749,275円	

〈支出の部〉

項目	予算額	決算額	付記
会議費	30,000円	25,520円	総会資料作製、役員総会
行事費	70,000円	28,000円	総会写真等
慶弔費	25,000円	0円	
卒業記念品費	80,000円	57,420円	卒業証書ホルダー
旅費	200,000円	141,600円	東京馬洗会総会出席等
生徒活動助成費	100,000円	0円	
通信費	650,000円	647,623円	電話代、インターネット代、郵便、HP管理手当等
印刷費	650,000円	565,713円	会報・払込票等各種印刷
事務手当費	600,000円	600,000円	事務局手当
雑費	100,000円	98,405円	振替口座手数料、祝金、館祖祭剣道大会等
館報積立金	0円	0円	積立停止中
特別積立金	0円	0円	積立停止中
事務用品費	30,000円	7,430円	用紙
転退職記念品費	30,000円	19,000円	餞別
予備費	34,779円	0円	
次年度繰越金	0円	558,564円	
合計	2,599,779円	2,749,275円	

2. 特別会計決算(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

①特別積立金	5,214,165円	②館報積立金	1,011,803円
ゆうちょ銀行	定期 77,000円	ゆうちょ銀行	定期 303,000円
両備信用組合	定期 1,012,470円	両備信用組合	定期 203,000円
広島銀行	定期 4,124,695円		定期 202,144円
	定期 621,092円*		定期 303,659円
	※定期全解約一般会計繰入	合計	6,225,968円

3. 創立120周年記念事業特別会計決算(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

〈収入の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
繰 越 金	2,867,973円	2,867,973円	
利 子	10円	9,509円	定額満期払利子2,715円(6/13)、定額満期払利子6,792円(2/13) 利子1円(10/1)、通帳解約時利子1円(2/13)
合 計	2,867,983円	2,877,482円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
教育振興助成費	300,000円	300,000円	日彰館高校教育振興助成(6/13)
同窓会運営基金	100,000円	100,000円	同窓会一般会計助成(6/13)
特別会計積立金	2,866,750円	2,477,482円	通帳解約、同窓会基金積立繰入金
合 計	3,266,750円	2,877,482円	

※ゆうちょ銀行 普通残高 2,477,482円(解約時2/13)

4. 創立125周年記念事業特別会計(日彰館同窓会基金)決算(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

〈収入の部〉

項 目	決算額	付 記
繰 越 金	2,304,018円	125周年事業会計
繰 入 金	2,477,482円	120周年事業会計通帳解約(2/13)
利 子	22円	12円(4/1)、10円(10/1)
合 計	4,781,522円	

5. 創立130周年記念事業特別会計決算(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

〈収入の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
繰 越 金	1,659,800円	1,659,800円	
寄 付 金	9,000,000円	2,518,829円	107件
祝 賀 会 費	0円	420,000円	42件
雑 収 入	0円	10,000円	御祝等
利 子	0円	12円	6円(9/18)、6円(3/18)
合 計	10,659,800円	4,608,641円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
事 業 費	0円	229,900円	クリアファイル製作(1,500枚)
印 刷 費	300,000円	199,375円	日彰館写真パネル印刷
通 信 費	150,000円	9,118円	切手代
予 備 費	150,000円	209,484円	会議費、行事費、横断幕、雑費、当番幹事経費補助、振込手数料等
特別会計積立金	10,059,800円	3,960,764円	次年度繰越金
合 計	10,659,800円	4,608,641円	

監 査 報 告

次のとおり、監査を実施したので、報告します。

1. 日 時 令和6年4月13日(土) 14時00分~
2. 場 所 日彰館高等学校 奥記念館1階 会議室
3. 監査内容 令和5年4月1日より令和6年3月31日に至る一般会計並びに特別会計、創立120周年記念事業特別会計、創立125周年記念事業特別会計、創立130周年記念事業特別会計について、監査を実施したところ、関係諸帳簿は正確かつ適正に処理されており相違ないことを認めます。

監事 溝 上 洋[Ⓔ] 加 川 直 幸[Ⓔ] 福 原 弘[Ⓔ]

■第2号議案 令和6年度予算(案)

①一般会計予算(案)

〈収入の部〉

項 目	前年度予算額	今年度予算額
繰 越 金	649,769円	558,564円
会 費	1,000,000円	1,000,000円
(一 般 分)		
(生 徒 分)		
雑 収 入	250,000円	250,000円
(協 力 金)		
(そ の 他)		
利 子	10円	10円
積立金取崩	600,000円	700,000円
同窓会基金繰入金	100,000円	
合 計	2,599,779円	2,508,574円

〈支出の部〉

項 目	前年度予算額	今年度予算額
会 議 費	30,000円	30,000円
行 事 費	70,000円	40,000円
慶 弔 費	25,000円	20,000円
卒業記念品費	80,000円	80,000円
旅 費	200,000円	180,000円
生徒活動助成費	100,000円	100,000円
通 信 費	650,000円	650,000円
印 刷 費	650,000円	650,000円
事 務 手 当 費	600,000円	600,000円
雑 費	100,000円	100,000円
事 務 用 品 費	30,000円	10,000円
転退職記念品費	30,000円	30,000円
予 備 費	34,779円	18,574円
次年度繰越金	0円	0円
合 計	2,599,779円	2,508,574円

※項目間の流用を認める。

2. 特別会計予算(案)

①特別積立金	5,214,165円	
②館報積立金	1,011,803円	うち①特別積立金取り崩し
③日彰館同窓会基金 (125周年特別会計)	4,781,522円	700,000円を一般会計繰入
合計	11,007,490円	差引 10,307,490円

④日彰館創立130周年記念事業特別会計予算(案)は第3号議案で別途審議とする。

■第3号議案 日彰館高等学校創立130周年記念事業について

①創立130周年記念事業協賛募金(令和6年3月31日現在)

支部	東京	京阪神	福山	府中	尾道	三原	広島	九州
金額	348	115	45			15	294	75
支部	三次	庄原	総領	世羅	上下	甲奴	三良坂	吉舎
金額	945	120		510			155	1,283
支部	その他		総合計					
金額	31		3,936 (単位：円) 端数+829円					

●募集期間……令和7年3月31日まで

②創立130周年記念事業

- 日彰館教育振興助成
日彰館高等学校教育振興協議会へ年50万円を令和6年度より10ヶ年計画で助成。
- 奥愛次郎記念奨学金助成
奨学金として、生徒に年10万円を令和6年度より10ヶ年計画で助成。
- 記念品
 - ・クリアファイル…奥田小由女先生作品(1,500枚)。募金協力者には1枚贈呈。
 - ・奥田小由女先生作品額1点を日彰館高等学校に寄贈。
 - ・吉舎イメージソングCD製作(学校)補助。日彰館写真パネル製作。
- 日彰館同窓会基金の拡充、校門前道路整備は継続課題とする。

③日彰館創立130周年記念事業特別会計予算(案)

〈収入の部〉

項 目	今年度予算額	付 記
繰越金	3,960,764円	
寄付金	4,000,000円	協賛募金※令和7年3月31日まで募集継続
祝賀会費	1,000,000円	会費
雑収入	50,000円	御祝等
利子	6円	
合計	9,010,770円	

〈支出の部〉

項 目	今年度予算額	付 記
記念行事費	2,200,000円	
内 訳	1,200,000円	式典及び記念講演関係費
	1,000,000円	祝賀会関係費
記念事業費	1,000,000円	
内 訳	500,000円	日彰館高等学校教育振興助成費
	100,000円	奥愛次郎記念奨学金
	400,000円	記念品等
事務局費	500,000円	通信費、印刷費、雑費等
特別会計積立金	5,310,770円	次年度繰越金
合計	9,010,770円	

■承認事項

①役員の変動

- ・副会長 高橋憲史(昭32) 庄原支部 令和5年12月ご逝去
- ・理事就任 瀬尾英寿(平3) 上下支部
- ・理事就任 奥 伸幸(平3) 吉舎支部

「館祖祭等で得たもの」

私たちの学年は、前年度の館祖祭及び前日準備の参加者は2名と少なく、とても寂しいスタートでした。

この度の館祖祭は、日彰館高等学校創立130周年を迎える年で、通常の館祖祭とは違い記念行事を併せた開催となりました。

私が同級生からLINEで参加依頼を頂いたのは、7月上旬の事務引継ぎ前でした。毎年3月から5月は多忙期で、館祖祭を手伝える余裕はないと思っていたので、その時の私は、誰かがしてくれると気にしていませんでした。

しかし、9月上旬に同級生から再度の依頼がみんなへあり、少数しか集まらず苦労していることを知りました。

私たちの学年は約200人。全員に館祖祭を手伝う責任はあるけど、個々に事情もあり手伝えない人もいるのだと思う。それから自分はどうすべきかいろいろ考えるようになり、次の結論に至り参加することにしました。

自分にも館祖祭を手伝う責任があり、忙しいからという理由で他人へ押し付けるのは、とても虫がいい話だと思う。自分の中で一生、罪悪感が残り、後悔すると思ったのと自分の成長のために挑戦することを決めました。

当日集まったのは、初期メンバーを含め8人でした。やっと実行委員会としてスタートを切りましたが、これから事務を進めていくには、まだまだ人数不足であることを痛感しました。

まず取り組んだのは、協力してくれる人を集めることと旧住所を更新することに専念しました。月日の経

実行委員長 平成4年卒業生 藤川 賢治

過とともに人数も少しずつ増え、事務もどうにか執行することが出来ました。

協力者が増える度に勇気を出して参加してくれたことを、とても有難く感じ、同級生は本当に良い存在だなという気持ちと感謝の気持ちで一杯でした。

人数が増えた要因のひとつとしては、実行委員会のミーティング後に必ず懇親会を開催し、交流を図ったことで仲間の輪が広がったと思います。お互いが自身の近況等を話すうち、32年間の経過は無かったみたいいに当時に戻った感じがして、たくさん話し笑い、懐かしく楽しい時間を共有できました。

スタートは2人でしたが、最終的に28人の同級生が集まってくれました。人数が増えたことで手段が増え、能力も向上し情報共有も効率よく行えるようになり、どうにか前日準備と本番を迎える事が出来ました。

前日の準備は暑い中、二手に分かれ作業を行いました。本番も夏日の中、館祖祭、同窓会総会、記念式典、記念祝賀会と朝から夜まで、担当の業務を全うしました。二日とも大きなトラブルはなく、みんなの協力のおかげで無事、全ての行事を終えることが出来ました。

館祖祭の当番幹事をきっかけに集まってくれた28人は、共に悩み、考え、行動した仲間です。そして館祖祭等の行事を成功させるために尽力した友です。これからの人生において、築いた良き関係をこれからも継続していきたいと思います。

最後に、多くの方のご支援やご指導により、令和6年度当番幹事として重責を果たせたことを感謝しお礼申し上げます。

「館祖祭を終えて」

児 玉 麻 由

日彰館創立130年という節目の年に当番年があたりました。

はじめは「どうしましょう…」と不安に思っただけで、藤川実行委員長の元PCに長けた人や意見をたくさん出してくれる人など、心配することも気張ることもなく終えることができました。

段取りをしていく中で、級友との再会が楽しくて話し合いが待ち遠しかったです。

卒業して32年。高校生の時と変わらないようでも話をするとそれぞれの人生を過ごしていて、私も頑張っていこうと思いました。

この館祖祭きっかけに絆が深まった気がします。役員をやって良かったと本当に思います。

そしてもう一つ。

奥愛次郎先生の本を初めて読みました。

志高く、苦労と努力で日彰館を創立されたことが良くわかり、しっかり勉強をしなかったことが悔やまれました。

社会に出て、少しは苦労してきた事で奥先生の努力が沁み入ったのかもしれませんが。

少子化で生徒数が減少してきていますが、地元の高校としてこれからも有り続けてほしいです。

卒業してからあまり気に留めていなかったのですが、これからは日彰館高校の活躍を楽しみにしています。

「館祖祭・創立130周年記念祭を終えて」

平成4年卒業生 光 清 智 恵

昨年11月に、前年度の実行委員の方より引き継がれた山本さんから数年前に作られた同級生数名のグループラインに館祖祭が開催される事と、それに伴い実行委員の募集のお知らせがありました。

何となく姉から聞いてはいたものの、正直館祖祭って…何だろう？とピンときていませんでした。

しかし、地元を離れて32年、このような事でもないと同級生に会う機会もなく、何をするのかは二の次にして、とりあえず参加してみようと思いました。

初めての集まりは本当に32年ぶりに会う顔ぶれもあり、なんとなく緊張の中あっと言う間に終わってしまった感覚でした。それから何度かの話し合いがあり、都合に合わせて参加し、参加人数も徐々に増えていきました。

最初は、緊張気味でしたがすぐにあの頃のように戻れ、できる人ができる事をし開催に向けて準備が進みました。色々な事を決めていく中で、高校生時代に“50歳になった年には館祖祭がある”という事を知っていたかったなあ。と思いましたが高校生時代に聞いていたのかも知れません。

あの頃は、休憩時間や放課後が楽しみで、勉強に励んだ記憶も事実ありません。残念ながら、先生や両親

からの意見やアドバイスには殆ど耳を傾けず、放課後は、学校前のムネトウ商店でお菓子と午後ティーを買い、友達と何をする訳でもなく、ただただ自分の興味のある事のみ夢中になり過ごしていました。校舎の裏に記念館がある事も記憶の中にあるような初めて訪れたような…

備品の確認で記念館の中に入れていただく事があり、改めて日彰館の歴史、奥愛次郎先生の功績に触れ、館祖祭を成功させたいと強く思いました。

今年度は、館祖祭に加え創立130周年の記念祭もありました。当日は、在校生のみなさんがとても頑張ってくれました。私達が思っていた以上にスムーズに進んでいきました。当日までにも日彰館の歴史ムービーを作成したり、役割分担をしたり大変な事があったように思いますが、とても助かりました。ありがとうございます。

館祖祭を終えて、今思うことは『こんな素晴らしい歴史ある学校がこの先も続いて行って欲しい。学校と地元地域が活気良く生き生きしていく為にできる事はなにか』と考えています。32年経ち、館祖祭でこのまま会えなかったかもしれない級友に会え、新しい繋がりができた事に感謝申し上げます。

東京支部だより

令和5年度東京支部 総会・懇親会報告

副支部長 竹原 弘(昭和48年卒)

令和5年度の東京支部(東京馬洗会)総会並びに懇親会は、10月21日(土曜日)午前11時45分から東京都中央区銀座のひろしまアンテナショップTAU3階にて開催されました。当日は多忙な中にも拘わりませず各方面からの来賓の皆様のご臨席を賜り、旧交を温め、盛会裡に終えることが出来ました。

当日は、冒頭、物故者の皆様のご冥福をお祈りして黙祷を捧げ、当年度の活動報告、会計報告、来年度の活動計画を報告、満場一致で承認されました。また、遠路ご来賓として春田本部同窓会会長、吉田同副会長、早稲田浩太郎日彰館高等学校教頭、吉宮孝治世羅高校



東京校友会会長のご臨席を賜り、日彰館高校創立130周年記念事業への取組み状況、高校や県北の近況などの報告をいただきました。それらの詳細は日彰館高校のHPに紹介されております。

懇親会は昭和37年卒の藤原源郎様の乾杯の音頭で始まり、久々の再会も相俟って随所で談笑、盛り上が

りました。今回、初めて参加いただいた松本百合香さん(昭和54年卒)、佐草伸吾さん(平成4年卒)にも楽しんで頂けたようです。

お酒も進み、そして恒例となりました吉田副会長のジャンケンゲームで、会場は歓喜の声、楽しいひと時を過ごしました。各方面より過分なるご協賛の品々をご恵贈いただきましたこと、本紙面をお借りして厚く

御礼申し上げます。また、受付を手伝って頂いた昭和40年卒の小畑さん、今井さんを始め、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

最後は参加者全員での校歌斉唱、集合写真の撮影、そして再会を約し、午後3時過ぎ、盛会のうちに散会となりました。

第8回 東京馬洗会 観桜会 開催報告

東京馬洗会会長 杭 迫 重 臣(昭和40年卒)



2024年3月26日午前11時30分から、上野精養軒本店「梅の間」で、第8回東京馬洗会観桜会を開催しました。当日は、未明からの大粒の雨に加え、前週からの寒気襲来で桜の開花が大幅に遅れ、穏やかな春昼には程遠く、満開は4月になってからと。この為、足元も悪く、常連で昭和30年代ご卒業の方々3名がご欠席となり、総勢16名の皆さんでの開催となりました。

開会に先立ち、4月末の日彰館創立130周年記念館祖祭・本部同窓会の進捗状況を報告。引き続き、昭和37年卒の麻田巧本会顧問の音頭で乾杯、ビュッフェスタイル&フリードリンクで舌鼓を打ちながら歓談が続ぎ、久々にご参加された方々などを中心に近況のご報告等をいただきました。

また、会食の後半では、「孫なども含めた家族の同伴を検討して欲しい」との要望が提案され、前向きに検討することを約しました。午後2時30分、盛会の内に終宴となり、帰路の頃には雨も上がり、不忍の池やアメ横などを散策された方々も有りました。

なお、来年の第9回観桜会は、3月25日(土曜日)、同会場にて開催すべく予約を終えております。気楽にかつ友人等をお誘いの上、多くの方々のご出席をお待ちいたします。

ク ラ ス 会 だ よ り

日彰館高校 昭和37年卒・4組クラス会報告

戸 谷 和 夫

昭和元号は今年が白寿になります。一方、私達は高校卒業後還暦越えの62年を迎え、同級生全員が実年齢は80歳を越え傘寿となりました。

私達が卒業後初のクラス会を行ったのは卒後37年目の平成11年(1999年)でした。その後約2年毎に開催し、前はコロナ禍が始まる前の年の平成31年(2019年)、丁度10回目で「喜寿を祝う会」となりました。

コロナ禍の収まるのを待っている間に5年が過ぎましたが、幸いにコロナによる訃報は入ってきませんでした。しかし、残念ながら、昨年太谷正毅君が鬼籍入りされました。



今回は令和6年5月24日(金)に「1年遅れの傘寿を祝う会」として前回と同じ場所の「広島市文化交流会館」で行いました。

参加申し込みは12名でしたが、直前に1名の欠席者が出て、最終的には11名の会となりました。

私達は団塊の世代前ではありますが、現在では考えられない1クラス58名の大人数で、同学年8クラスあったと思います。現在の同級生の物故者は13名。日本人の平均寿命が80歳余りという事から考えると仲間一同良く頑張っ、後期高齢者人数の増加に貢献していると思われま。

会の冒頭に物故者13名の名前が報告され、ご冥福を祈り黙禱をした後、一番遠路となる東京から参加の平尾君(参加者唯一のバリバリ現役社会人)の音頭で乾杯をし、宴を開始。皆がほろ酔い加減になった頃合いで、首席幹事?の近況報告に始まり、参加者全員が

地区の老人クラブのリーダーとして活躍しているとか、各種ボランティア活動を生きがいとして頑張っているとか現役時代のライフワークの完成を目指して研究を続けている等のお披露目がありました。加えて、関東及び関西地区から遥々参加の2名より夫々の地区会員の現状報告では「参加したいが足元の不安」「一人での参加に自信がない」、「難聴があり出席しても辛いので断念した」等があり、改めて私達は後期高齢者であるとの現実を知ると共に元気に参加できたことを素直に喜び合いました。

更に、今回出席出来なかった人からのコメントが書かれた返信ハガキを回覧し、更なる思い出話を花を咲かせ、予定を大きく越えた3時間余りの賑やかな会となりました。

最後に今後は出来るだけ頻回に集まる機会を作り、元気で米寿を迎えることを約して散会しました。

久しぶりの「大風呂敷保存会」を開催

広島支部 宮中 頼克

「大風呂敷保存会」というネームを、4組の誰がつけたのかわからない?昭和40年に卒業した4組の担任が、今は亡き先生(木津和要人)であり、この恩師をイメージして命名されたのでしょうか。

高校を卒業してからは、度々クラス会を開催する中で、1994年の夏には、「卒業して30周年記念及び恩師に対する感謝の集い」を開催し、26名が集い、墓前にお参りしたことを思い出しました。

以来、還暦の会を三次で、古希の会を宮島で、また、大風呂敷保存会の集いを福山や広島で開催していましたが、コロナウイルスの悪夢の時代に出会い、当分の間、集いが出来ませんでした。

今年の2024年は、コロナも5類に移行しました。また、クラス仲間の全員が満77歳(喜寿)を迎えたことから、N君とS君の二人から、私に対して、県内在住のクラスメイトが集まり、近況を聴く集いを開催したいと思うので、会場の海保と日程調整を行うようにと頼まれました。

大変なことだと思いつつ、早速ラインの4組グループ作りから始め、参加者の募集を行うと共に、会場や日程の折衝などを行いました。この間、色々面白いことがありました。

ラインネームを個性ある名で登録しているため、解説がないと誰だかわからない者。金は有るが集まる機会が無いので会いたくても会えない、この度の呼びかけは有り難く思う。80歳は楽に超えられると思うの



で、「傘寿」の記念の集いを全国の生きているクラスメイトに呼びかけてほしいなど、多数の声があり、世話人として感謝しながら、良かったなと自己満足しています。

この度の「大風呂敷保存会・喜寿の集い」は、広島市内にある回転展望レストランが看板の国際ホテルが今後取り壊されますが、この建物内の「芸州本店」で、3月16日(土)に10名が参加して、料理、お酒をお腹に入れながら、近況や思い出話に盛り上がりま。

参加者の中には、同窓会の会長を務められているH君がおられ、クラスメイトとして自慢できることでもあります。同窓会の運営も大変でしょうが頑張っただくようにエールを捧げます。

次の節目となる傘寿(満80歳)の時には、健康長寿の証として「大風呂敷保存会の集い」が、盛大に開催されますことを願いながらパソコンの手指を休みます。

母 校 だ よ り

令和5～6年度 現況報告

令和6年度 学校経営方針

1 教育目標

自立・協働

2 育てたい生徒像

- (1) 「衆縁和合」の精神により、他者を認め、尊重し、協働して物事を進め、社会における自らの役割を自覚し行動する生徒
- (2) 「質実剛健」の精神により、探究心を持って自身の充実を図り、誠実に学び続ける態度を持つ生徒

3 中期（3年間）経営目標

- (1) 多様な他者を知り交流する中で、自他の価値観を尊重し、協働して物事を進めていく生徒を育てる学校
- (2) 探究的に思考するための知識・技能を習得し、生涯に亘って主体的に学び続ける態度を持つ生徒を育てる学校

4 短期（本年度）経営目標

- (1) 多様な他者を知り交流する中で、自他の価値観を尊重し、協働して物事を進めていく生徒を育てる学校
 - ① 特別活動の充実を図る
 - ② 表現力の育成を図る
- (2) 探究的に思考するための知識・技能を習得し、生涯に亘って主体的に学び続ける態度を持つ生徒を育てる学校
 - ① 他者を尊重する姿勢がある生徒を育成する。
 - ② 行事を通じて、協働性を身に付けさせる。

全校生徒数 **225名**

(5月1日現在)

- ◎ 3年生 …………… 69名
- ◎ 2年生 …………… 76名
- ◎ 1年生 …………… 80名

令和5年度 部活動実績

吹奏楽部	◆第64回広島県吹奏楽コンクール高等学校小編成部門 銀賞
美術部 (写真班)	◆第55回広島県高等学校写真展 9名出品4席1名 5席1名
書道部	◆第47回ふれあい書道展 奨励賞3名 敢闘賞1名 ◆第48回ふれあい書道展 奨励賞2名
文芸部	◆第60回高校生対象デザインコンクール・マンガコンクール 入賞1名 佳良賞3名
剣道部	◆広島県総合体育大会 男子団体：出場 女子・男子個人：出場 ◆広島県高等学校新人剣道大会 男子団体：出場 女子・男子個人：出場
陸上競技部	◆第76回広島県高等学校総合体育大会 出場 ◆第73回広島県高等学校対抗陸上競技選手権大会 出場 ◆第60回中国高等学校陸上競技対抗選手権大会 男子やり投げ：7位

ソフト テニス部	◆広島県高等学校春季選手権大会 個人：出場 ◆第75回広島県高等学校総合体育大会 個人：出場 男子・女子団体：出場 ◆第69回広島県高等学校新人選手権大会 個人：出場 男子・女子団体：出場
卓球部	◆第69回広島県高等学校新人卓球選手権大会 男子個人：出場
バレー ボール部	◆第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会 女子の部：出場 ◆第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会 女子の部：出場
サッカー部	◆令和5年度広島県高等学校サッカー新人戦 出場
硬式野球部	◆第104回全国高等学校野球選手権広島大会 出場

主な取組(令和5年度)

1. ようこそ先輩

〈目的〉各界の第一線で活躍するOBから、その専門とする世界と自らの人生等についての講話を聴くことで、自己の将来について考え、進路意識を高めさせるとともに、学習に対する意欲の向上を図る。さらに、同窓の先輩による後輩への熱いメッセージにより、母校や地域に対する誇りを持たせる。



花神氏

1 学年

- 第1回 講師：花神 大地氏
(平成27年3月卒業 備北消防組合庄原消防署 消防副士長)
- 第2回 講師：羽場 秀昭氏
(昭和49年3月卒業 カイハラ株式会社 調査役)
- 第3回 講師：佐々木 リョウ氏
(平成19年3月卒業 シンガーソングライター)



羽場氏



佐々木氏

2 学年

- 第1回 講師：百合田 雅也氏
(平成19年3月卒業 介護老人保健施設「愛生苑」理学療法士)
- 第2回 講師：茨木 栄治氏
(平成16年3月卒業 ㈱グリーンカウベル 代表取締役社長)



百合田氏



茨木氏

3 学年

- 第1回 講師：田中 陸氏
(令和元年度卒業生、島根大学法文学部社会文化学科在籍)
- 第2回 講師：熊原 保氏
(昭和48年3月卒業 優輝福祉ユースライン 理事長)



田中氏



熊原氏

2. 吉舎おもてなしプラン

〈目的〉「多様性を認め合い、自分と他者の心理的距離感を縮めようとする態度を養う」ことを目的に、広島大学の留学生を本校に招き、日本の文化紹介や吉舎街歩きガイドツアーで生徒がおもてなしをする。



〈全体会〉留学生の自己紹介とグループでのアクティビティ



〈クラス交流〉生徒と留学生から自国の文化に関するプレゼンテーション



〈生徒の感想〉

- ・実際におもてなしプランに参加してみ
て、英語で質問して交流をすることが
できた。しかし、留学生の方がとても
日本語が上手で、少し日本語に頼って
しまう時もあった。今回、おもてなし
プランを通して様々な国の文化の違
いを感じることができて、それぞれの国
の良さが分かった。私たちも留学をす
ると、色々な発見があっていい経験に
なるのだろうと思った。
- ・うまく話せなくても、伝えようと努力し、楽しい時間を過ごすことができました。失敗を恐れてしまいがちなのですが、今回大学生の方と交流して人とコミュニケーションをとることが、少し楽になりました。これからの人生に活かしていきたいと思います。
- ・シンプルに楽しかったいい経験になった。英語で質疑応答できない時があったので来年までには英語の授業で能力を高めてもっと楽しいおもてなしプランにしたい。



〈吉舎街歩きガイドツアー〉生徒が留学生に吉舎の魅力を伝えながら歩くガイド

3. 台湾講座

〈目的〉異文化比較研究を進める上で、専門の講師を招いた授業を実施することで、生徒の異文化理解学習を深めることを目的に、年4回実施する。

講師：県立広島大学地域基盤研究機構長
上水流 久彦 教授



令和5年度 進路実績

大 学	国公立	2名	新見公立大学、尾道市立大学、周南公立大学
	私立	19名	(県内) 広島修道大学(13)、広島経済大学(13)、広島工業大学(2)、広島文教大学(3) 広島女学院大学、比治山大学、福山平成大学、広島文化学園大学 (県外) 京都産業大学、近畿大学、岡山理科大学(2)、環太平洋大学、松山大学
専門学校	公立	4名	広島県立三次看護専門学校(4)
	私立	18名	広島医療秘書こども専門学校、福山医療専門学校、広島外語専門学校(2) 広島情報ビジネス専門学校、広島コンピュータ専門学校、広島工業大学専門学校 穴吹ビジネス専門学校、広島ビューティ&ブライダル専門学校(4)、広島情報専門学校 大阪こども専門学校、朝日医療大学校(2)、西日本調理製菓専門学校 大阪農業園芸・食テクノロジー専門学校、総合学園ヒューマンアカデミー広島校
文科省 所管外	大学校	1名	島根職業能力開発短期大学校
	短大校	2名	広島県立三次高等技術専門学校(2)
就 職		6名	株式会社シナジーテクノカ、株式会社フレスタ 株式会社東城ポーター、株式会社三次衛生工業社 福山スチールセンター株式会社、医療法人ともみ会 大倉医院

※ () 内の数字は、合格実績の人数です。

日彰館創立130周年記念事業募金のお願い

創立130周年を契機にさらなるより良い教育環境づくりを構築して行くために、皆様のご支援を賜りたく広くご寄付を募集致しております。この大きな事業を達成するための基金が約300万円不足しています。大変厳しい社会経済ではありますが、一人でも多くのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

募金の募集期間 令和7年(2025年)3月31日まで

募金の使途

●日彰館高等学校教育振興助成費

年額50万円を向こう10年継続して学校教育に助成していく計画です。

●奥愛次郎記念奨学金

年額10万円を向こう10年継続して日彰館に学ぶ生徒に奨学金として学校に助成していく計画です。

募金の口数

1口 5,000円とし、できれば2口以上お願いいたします。

募金の振込

同封の払込取扱票をお使いください。

通信欄のその他の項目に「130周年募金」と記入してください。

※領収書は事務手続きの簡素化のため、払込時にゆうちょ銀行からお受け取りになる「払込請求書兼受領書」で領収書に代えさせていただきます。

※5,000円以上の寄付者には、奥田小由女先生の記念クリアファイルを贈呈させていただきます。

編集後記

令和6年(2024年)4月28日(日曜日)、日彰館高等学校創立130周年記念行事が開催されました。今日まで綿々と伝統を受けつぎながら、時代に即応した改革も進められてきました。奥愛次郎先生の掲げられた理念は、「質実剛健」「衆縁和合」となって結実し、130周年の節目となった現代においても、さらにその意味は高いものとなっています。

当日は、記念行事に先立って善逝寺において館祖祭を実施し、これも館祖没後一度も途絶えることなく行われ、121回目となります。これまで日彰館の教育に関わっていただいた多くの恩師の方々、同窓生会員の物故者の方々へのご供養が勤められました。

記念行事は、よっしゃ吉舎を会場に、平成4年卒業の当番幹事の皆さん、日彰館高等学校生徒の皆さんの素晴らしい動きの中、約300名の参加をうけて、記念式典及び記念講演を開催することができました。記念講演は、卒業生で文化勲章受章者の人形作家奥田小由女先生をお迎えすることができました。吉舎の地にお越しいただけたこと、先生の生の声を生徒たちとともに聞けたことが大きな喜びであり、先生の講演を通して、学び舎の歩みと未来への思いを馳せることができたと思います。

学校を取り巻く状況は厳しさを増しています。伝統ある学校の存続と発展のために、皆様方の益々のご支援とご協力を引き続きお願い申し上げます。

文責 事務局 雲井

同窓会本部からのお願い

同窓会は、皆様からの会費及び協力金で運営されています。一人でも多くのご協力をお願い申し上げます。

1. 会費(1口 5,000円)を納入して下さい。
 2. 会費(従来の終身会費)を既に納入されている方は、できるだけ増口をお願いします。
 3. 本部運営協力金 500円以上の協力をお願いします。
- ・同封の払込用紙をご利用下さい。

事務局

〒729-4211 広島県三次市吉舎町吉舎293-2広島県日彰館同窓会事務局 TEL(0824)43-2664

事務局長 雲井 一浩(昭和54年3月卒業) 携帯電話 090-9065-6742

(事務局は留守が多いので、携帯へご連絡くださいますようお願いいたします。)

●PC用 <http://nitsushoukan.com/> ●スマートフォン用 <http://nitsushoukan.com/sp/index.html>

●メールアドレス nikko-ds@p1.pionet.ne.jp